

第91回

センバツ
高校野球

第3日



初戦前日、軽めに投球練習した八学光星の投手陣の横山(左)と山田=25日、大阪府高槻市

光星ナイン 「勝ちにこだわる」 きょう初戦広陵(広島)と

選抜高校野球大会第4日の26日に広陵(広島)との初戦を迎える本県の八学光星は25日、大阪府高槻市のグラウンドで最終調整に臨んだ。投手陣は軽めの投球練習で本番に備え、野手陣はフリー打撃で快音を響かせた。

主将武岡は「勝ちにこだわりたい」と初戦突破を誓った。投球練習は右腕山田、左腕横山の2人が30球ほど投げ込んで終了。主戦後藤はほとんどボールを投げることなく、筋肉をほぐすなどのトレーニングに時間を割いた。「調子は上がってきている」と後藤。光星は試合展開を「僅差(伸井監督)と想定しており、下山を加えた4人の投手陣で強力な広陵打線を相手に最少失点に抑えたい。

野手陣の打撃練習は打撃ケージを横並びで三つ設けた。真ん中を広陵のエース右腕河野に見立て、バッターは右投げの打撃投手を相手に鋭い打球を飛ばすよう心掛けた。時折、大きな当たりの打球が飛ぶと、コーチらが「あしたに(本塁打を)取っておけ」と叫び、笑いを誘う場面もあった。

練習後、伸井監督は取材に「僅差の試合は隙を見せた方が負ける」と気を引き締め、武岡は「わくわく(する気持ち)と闘争心をむき出して初戦を迎えたい」と本番を心待ちにしていた。